# 京城新報

## 京城居留民團公文

京城居留民團告示第一號
京城居留民團區域内ニ居住スル者ニシテ明治三十六年四月ヨリ明治三十七年四月一日ニ至ル間ニ出産シタル兒童ハ來ル四月一日就學ノ始期ニ達スヘキニ付該兒童ノ保護者ハ三月二十日迄ニ入學證ニ戸籍謄本ヲ添ヘ當民團役所ニ提出スヘシ
明治四十三年二月十九日
京城居留民團民長　古城管堂

雜報

## 阪谷男の財政談

▲内債借替の成功　四分利附一億圓の内債借替は二十五日締切りたるに應募總額二倍に達し當局者は其の成功に滿悦し居れる由なるが余も亦其大成功を祝するに吝ならざるものなり蓋し四分利の公債募集は今回を以て嚆矢とし一躍一分を突飛したるものなれば目下の場合到底之れ以上の成績を望む事絶對に不可能なるべければなり併し當初に於て幾分の疑惑ありしにせよ本邦經濟界の發達に顧み政府當局者が今一層大膽に少くとも二三億位の借替を斷行せざりしを遺憾とす兎に角今回の借替に依りて本邦經濟界の狀勢を確實に知り得たると共に四分の利率は以て現内閣財政上の主義方針の存する所を表明したるものと解するを得べし

▲財政整理と國家の施設　政府は直に第二回の計畫に着手し桂閣の所謂財政整理政策は着々成功に近づきつゝある者の如し然れども國家は單に財政の整理公債の償還のみに全精力を傾注して他は全然棄て顧みざる事を得るものに非ず成程戰時税の整理もあり交通機關の完成を期する必要もあり又は軍備の整頓外交の刷新等其施設經營すべきもの枚擧に遑あらざれば馬車馬的に財政整理計畫にのみ突進するを許さゞるべし是れ財政當局者と一般政治家との間に議論の絶えざる所にして我が國將來の爲政者は常に是れ等の調和的發展を期せざるべからず其の任や固より重大なりと云ふべし故に余は現内閣の財政整策の成功を喜ぶこと勿論なれども將來斯の如き國家諸般の施設に妨げられ又は經濟界特別の事情に遭遇する事無きを保す可らざるを一言せんとす

▲外債借替の前途　英國民は上院を通過せざる豫算案に對し政府を信頼してサッサと納税し居る國情なれば同國の政爭自体が一般の財界に何等の影響なく我が公債借替の前途にも亦何等動搖を及ぼさゞるは勿論なり而も萬一内閣更迭して統一黨内閣の樹立を見る事もあらんか關税政策の大改革と共に一般財界にも幾分の影響は免れざるべしされど現在の狀勢にては本邦の金融界は世界の市場と頗ぶる調和し來り且つ倫敦の金融界も頗る緩和し來りたれば我が外債の借替は比較的有利に遂行せらるゝ事ならん其總額利率等の如何に就てはシンジケートとの相談に在る事なれば目下想像に苦めども主義としては資本家に多少の不平あるに拘はらず我國家の爲め飽く迄多額の借替を斷行せん事を希はざる能はず

## 露國の氣球艦隊

去る二月十二日露國の義捐金海軍擴張委員會はアレキサンドル、ミハイロウイチ太公議長の下に開會し同委員會の募集金中使用殘金處分法問題解決の件に就て協議したりしがアレキサンドル太公は議事に先ち氣球艦隊の目下必要なることに就き演説する所あり會員の注意を促したるに討議の後委員會の殘金九十萬留を舉げて悉く氣球艦隊製造費に充るに決し續て同艦隊製造費募集の爲め露國全國内に義捐金募集の裁可を得る事と委員會内に新たに氣球艦隊部を設くる事を決議したるにアレキサンドル太公は該氣球部會議にも議長と爲るべきことを即座に快諾せられ該會議には從來の委員の外斯道專門家を招聘することに決したりと云ふ

## 二月の氣象概況

（京城測候所報告）

前月末より引き續き寒氣凜烈にして二日低極零下十九度六を示し既往本月に於ける極數より尚低温なり三日低氣壓渤海に現はれ未明より降雪一粍に及びしと四日高氣壓は東海に來進し天候漸次恢復し八日山東省附近に低氣壓現はれたれども差したる影響なく却て翌日より氣壓は滿洲及び黄海に擴張固定して十餘日殆んど降水なく西風吹き晴天持續し廿五日小低氣壓北清より浦鹽北方に去りたる後は南風を交へ寒氣緩和せられ高極八度八に達せり而して全月の平均氣温は昨年より稍低けれども平年に及ばず降水量は僅に一粍二を測り累年中の最小量を示し蒸發量及日照時數多く晴天日數亦夥しとせず

| 項目 | 本年 | 昨年 | 平均 |
|---|---|---|---|
| 平均氣温（攝氏） | （一）三、四 | （一）三、三 | 三、七 |
| 最高氣温 | 八、三 | 八、八 | 八、八 |
| 同日 | 廿五日 | 十四日 | 三年二月十四日 |
| 最低氣温 | （一）一九、六 | （一）一三、二 | （一）二兲 |
| 同日 | 二日 | 七日 | 二年二月七日 |
| 蒸發量（粍） | 四四、七 | 六三、九 | 五六、三 |
| 降水量（粍） | 一、二 | 七、九 | 八、五 |
| 同日 | 四 | 八 | 五 |
| 快晴 | 九 | 六 | 七 |
| 曇天 | 二 | 二 | 三 |

地方通信

## 平壤通信

▲平南線工事と停車場　平南線第一二三五區工事は昨冬結氷に入りてより休工中なりしか愈々去る豐日より繼續工事に着手又本年度より新に施工する事となりたる第四工區も同じく同日を以て工事に着手したるか右の中比較的工事の進捗したるは二工區にて他は目下漸く土工及準備工事に着手したる四工區を除くの外は大抵同程度にあり之れか竣工期は請負工事に屬する分のみは八月中の豫定なるが夫より線路の敷設及バラスの撒布等を爲し本年中に全部完成せしめ斯て來春匆々列車の運轉を開始する筈なるか同線卅四哩間に於ける停車場は目下の處にては常地及鎭南浦の外は太平洞岐陷興池洞等に設置せらるべしと

▲京義線と中龍間工事　京義線改良工事は愈今年度より取急ぎ施工せらるゝ筈なるが工事の重なるものは小橋渠ノ架設の外は平壤以北にしては東林良策間以南にては土城汗浦の急勾配四十分の一なるを百分の一と改造するにありて前者は二十哩後者は二十四哩都合四十四哩の工程にして工事は前者の方至難なる趣きなるが平壤龍山間に於ける分は今後一年間に同線の改良を了する豫定なれば其上は列車の速力牽引力等も増加せしめ得べしといふ

▲昨今の商況　昨今の手合せは前報と大差なく白米上物九圓二十錢中物八圓七十錢にて在荷も相當にあり大豆上物七圓中六圓五十錢を唱へ居るのみならず在荷皆無なれば向暖强の姿にあり然し一部に多少の貯藏あるものゝ如くなるも先を見越して買進ますために相場は上向を呈しつゝあり粟は目下七圓六十錢を唱へ居るも入荷尠なく實際の相場は一寸見込み立ち難し小麥八圓三十錢蕎麥五圓綠豆六圓五十錢稗四圓小豆六圓四十錢を呼び居れり而して陶器類の當市場に現はるゝは瀨戸物の大阪經由するものと下關を通過し來る肥前物なるが就中肥前物は比較的價格の低廉なると品質の耐久的なるとが呼びものとなり毎年相應の賣行きを見たるも本年は例年に比して約三分の一位の賣行ありしのみにて之れがために當業者は見越違ひをなし多少の損毛を生じたる有樣なるが解氷するに至らば相當の賣行あるならんと觀測さる

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

## 日本銘刀傳

第六十席　邑井一講演

秋「就ては何うか私の爲めには、四代後の藤四郎行光と云ふ御人は御番鍛冶になられたと云ふ先祖正宗、彦四郎貞宗は此れも御番鍛冶になつた、私の代には御番鍛冶に舉げられなかつたが就ては相州鍛冶の中から又是非御番鍛冶を出さなければ、私は殘念に思ふ、何うかた前は京都へ參つて、鍛冶の名譽を輝やかして下さい　祐「ヤ何せう備前豊前大和、其の他國内の鍛錬師が心を盡して上洛をする、夫れに就ては、なかく御番鍛冶と云ふのは傳手もなければならぬ、又た其の身の行ひも正しい者でなければならない、何しろ今度上方へ參つて、首尾能く御番鍛冶になりたいと云ふ心持で充分私も持つて居る夫れだから私が京都から歸つて來るまで、れ前さんは養生して立派に全快をして下さい　秋「ヤ嗜へ私が病中で、此の世を去るとも魂は此の世にあつて、其許の身体を保護する、何うか其の積りて上京して呉れろ、何分頼む」と云ふ、爰で秋廣と祐實の兩名は淚の中に喜びの眉を開らいて別れる、愈上京の支度をしたときに、祐實幸ひには北條島時の家來で、山名藏人元春、是れが自分の家來に富山次郎景近と云ふ者があつた、過し頃ほひに稲村ケ崎の小戰爭のあつたとき、此の者討死をして居る、其の遺れ紀念に戸山太郎と云ふ一子が殘つて居る、其の討死の廉が餘り宜しくなかつた爲めに、遂に此の家を取潰すことになつて居る、此の倅が未だ幼稚であつたから立てなかつた夫れが是非刀鍛冶になりたいと云ふ處から、藏人元春祐實を呼んで「何分頼む」と云ふたとだ　祐「委細承知致した」と云ふんで、是れ祐廣と云ふ名を與れた秋廣の廣の一字を貰つて自分の祐の一字を遣つた、此れが大變に修業の結果が好くつて、富時祐廣が打つて祐實の銘を打ては、夫れで通る位だ、是れを大變に喜んで　祐「何しろ誠に喜ばしいことだ、此の度れ輸を是非同道するから　廣「誠に難有いことでございます、併し今私は妻が懷姙をして居るに依つて、京都へ往つた不在に若し產の紐を解くやうなことでは……　祐「イヤ併しれ前は是非連れて往かなければ成らないから往つて呉れ」デ女房にも充分に手當をして、是れから旅の支度に掛つたが、兎もあれ山名藏人樣へ出で此のことを申上げやうと罷り出でゝ、此度上京するに就ては京都の首尾を取計つて貰たいと云ふ頼もあればと早速祐實が山名の屋敷へ參ました最早藏人は老体で隱居して、悴の右馬允が最早家督になつて居る、デ自分は御隱居へれ目通りをして　廣「何時もながら御機嫌宜しう　山「ヤ此度び承はれば、其方は師に就いて上京するとあるが然やうか　廣「御意の通り此度師に就いて京都へ上ります、御承知の通り鎌倉鍛冶評判誠に宜しく、別て秋廣祐實の評判宜しく、然るに大進坊佐慶、此の者此度師の上京に就て何どかして自分が京都の首尾を計つて、御番鍛冶にもならふと云ふ野心を抱いて居ります　就きましては私は貴方樣のれ聲が掛りをもちまして、祐實の名前を買ひました次第ゆゑ、他の者とは事違ひ、私は是れまで師に受けましたる恩義はなかく言語に述べがたいほど手を取つて敎へ呉れました、然れば私が打つて師の銘を入れたるものは、何方が何うだか分らんと云ふ位、修業の積みましたるのも、皆是れ師のれ蔭でございます、是非上京の後は師を御番鍛冶に舉げたい心得、デ貴方樣から致して、何うか京都の御手續きあらば宜しきやう願ひたい　山「尤もである、能く其の方は師の恩を忘れず右やうなることを申し出でゝ參つた、好しく　然らば此の方より致して、京都の宇治左大臣賴親公の家老上用庄司正吉と云ふ者がある、此の者以前我が方に食客を致して後、京都に上つて左大臣の御意に適つて目下重く用ゐられて居る、殊に宇治左大臣は大内の通り、宜く勢ひ並ぶものがない、依つて此の方より致して、是れに頼んで遣はさう、其の方なり師なり兩名が打上げたる大内帝あらば、夫れを獻上致すが宜い」

東京電報

●民黨綱領發表 憲政本黨、又新會、無名會及戊申俱樂部員の一部にて成立したる純民黨は其名稱を立憲國民黨と稱すると共に決し主義綱領を發表せり(五日)

●新聞業者決議 昨夜全國新聞通信社大會を開き滿場一致を以て左の決議を爲したり(同上)
吾人は[illegible]新聞用紙輸入稅率は政府提出の原案を以て至當と認め[illegible]

●國民黨結黨式 進步黨系の犬養毅、大石正巳[illegible]又新會の河野廣中氏等の間に交渉中なりし純民黨組織の議は協議一決し愈々立憲國民黨と稱し來る十三日を以て盛大なる結黨式を擧行す(同上)

●太平洋岸の大降雪 外務省に達したる公電によれば本年當地は近年稀なる降雪にて大北會社の列車雪崩の爲め谷間に墜落六十四名の死者を出し埋沒列車は目下盛んに救助中なり(同上)

●鐵道官吏扶助法案 政府は本日韓國在勤の鐵道廳官吏の恩給及び遺族扶助料方案を提出したり(同上)

哈爾賓特電

●星野參謀長の着任 [illegible]

雜報

# 合邦說と大隈伯

[illegible]

# 北韓開發の建議

[illegible]寒心に堪ざるものあり而して這般暴徒の系統に就ては既に充分の探査を遂げ一擧討伐を試むれば直ちに靜鎭し得べしと雖も元來暴徒には政治的意味を以て成れるものと草賊的部類に屬するものとあり勿論其多くは草賊的部類に相違なきも數日來頻起せる賊團は決して輕かく輕視し能はざるが如し去る二日忠清北道丹陽郡に起れるもの及今回の鐵道沿線暴徒の如き前者は六十餘名を算し後者は約百名に近き大集團にして步武亦整々唯だ夫れ奪掠を目的とするものゝみと思ひ得べからず必ず其裏面には排日を加味し其表面には政治的旗色を飜へし居るものと見て可なり既に政治的暴徒たる以上は之に臨むに其覺を以てするを要す故に此際一大討伐を試み假令之を根絶し得ざるまでも少くとも草賊的暴徒たらしむるまでに逐行せざるべからず濫りに彼賊徒を見鑑びり韓半島の桑中を謳歌するが如きは啻に彼等の跋扈跳梁を制する能はざるのみならず永遠く禍根を貽すものなり

# 農商工部の改革

[illegible]

# 頻々暴徒襲來

（某高級武官の談）

[illegible]

●振替貯金取扱趨勢 昨年度に於ける振替貯金取扱ひ數は拂込度數四萬八千百二十一度此の金額百四萬七千五百五十五圓、拂出度數千二百四十六度此の金額十五萬千六百七十八圓にして前年度に比較すれば拂込に於て度數二萬二千九百六十九（九割一分三厘）金額二十九萬五千九百十四圓（三割九分四厘）拂出に於て度數七百五十（一割五分一厘）金額八万四百十三圓（十一割二分八厘）を增加せり而して此の如き著大なる發展を見るに至りたるは從來振替貯金口座受拂事務は獨り東京郵便貯金管理所の掌理する所なりしに四十一年十二月以降大阪郵便貯金管理支所に於ても同口座を開設したるの結果大阪以西と商取引上密接なる關係を有する在韓日本人に於て之れを利用するもの一層增加したるに基因するものと認めざる可らず

●賊魁李鎭龍の振舞 去る三日午後四時京義線列車を轉覆せんとしたる暴徒首魁李鎭龍に就き某憲兵將校の談に曰く彼は先年來黃海道甕津を根據として各所に出沒し我が討伐隊に最も頑強に抵抗したる賊團なりしが前記根據地を看破されたる以來彼は數箇月其踪跡を晦ませり一說に彼は武器購入の爲め浦潮に渡航したりと傳へられたるが果して彼は昨年冬以來精銳なる武器を携へ再び黃海道に現はれ主として鐵道沿線以南を繩張りとして荒し廻はれり今回鐵道線路破壞を企てたるは討伐隊の來往を斷たん爲めの計畫なりしが如し而して彼が我が追擊を受け西方に逃走したるは全く彼の不覺にて前述の如く從來は主として鐵道以南を本據とせる爲め今回出現せる所合里及天摩山の地勢に暗く爲めに吾が捜索隊に逢ひて逃路を失ひ十名を殪さるゝに至れるなり云々

●各道の痘苗配布數 二月中各道警察の請求により內部衛生局にて無料配布を行ひたる痘苗一萬〇八百三十具にして一月以降の累計一萬四千百六十具（七萬〇八百人分）なりと云ふ左に道別を掲ぐ

| | 二月分 | 一月より累計 |
|---|---|---|
| 漢城 | 二〇〇 | 二〇〇 |
| 京畿 | 四〇〇 | 四〇〇 |
| 忠南 | 一、〇〇〇 | 一、六〇〇 |
| 全北 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 |
| 全南 | 二、〇四〇 | 三、一四〇 |
| 慶北 | 一、二八〇 | 一、四八〇 |
| 慶南 | 三、二二〇 | 四、六〇〇 |
| 江原 | 一〇〇 | 一〇〇 |
| 咸南 | … | 一〇〇 |
| 咸北 | 六五〇 | 六五〇 |
| 平南 | 三〇〇 | 三〇〇 |
| 平北 | 四〇 | 四〇 |
| 黃海 | 六〇〇 | 六〇〇 |
| 大韓醫院 | … | 三〇 |
| 全州慈惠醫院 | 一〇〇 | 一〇〇 |
| 計 | 一〇、八三〇 | 一四、一六〇 |

●順川犯人取調經過 過日來平壤順川其他の地に於て檢擧したる順川暴動犯人は其後平壤監獄本署に收容し地方裁判所より柿原檢事各日出張し嚴重に取調中なりしが右は去一日を以て終了したるを以て近日何れも豫審に附せらるゝ筈なり目下同署に拘禁しある該犯人の數は二十四名にして內一名李應玄と稱するは暴動の當時重傷を負ひたるものにて其後我官憲の手にて治療を加へたる結果殆ど全癒し昨今は步行をも爲し得るに至りたる趣なるが彼等は一般に比較的万事の點に於て完備せる我新監獄署に於て被告人として彼等に取りては意外なる文明的制度の待遇を受つゝあるより何れも靜肅に身を持し牢獄に於ける我手當の行屆けるに感じ居る趣なりといふ

●平壤四年間の戸口 平壤理事廳の調査に係かる去る三十八年より昨四十二年までの居留邦人の戸口比較は左の如き狀況に發展せり

| 年別 | 戸數 | 男子 | 女子 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 卅八 | 五九三 | 一、三〇三 | 七六一 | 二、〇六四 |
| 卅九 | 一、四四七 | 二、七七五 | 一、七五五 | 四、五三〇 |
| 四〇 | 一、七八三 | 三、八七〇 | 二、三〇四 | 六、一七四 |
| 四一 | 一、八三三 | 四、一六九 | 二、六八〇 | 六、八四九 |
| 四二 | 一、八六七 | 四、二六四 | 二、七六六 | 七、〇三〇 |

右の如くにして卅八年拾二月末より（右表は昨年末現在實數）昨年十二月末迄に於ける邦人戸口の增加は實に著しきものにして其增加割合を示せば如左

| 年別 | 戸數 | 男子 | 女子 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 卅九 | [illegible] | 一、四七二 | 九九四 | 二、四六六 |
| 四〇 | [illegible] | 一、〇九五 | 五四九 | 一、六四四 |
| 四一 | [illegible] | 二九九 | 三七六 | 六七五 |
| 四二 | [illegible] | 九五 | 八六 | 一八一 |
| 合計 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | 四、九六六 |

●趙總管辨解に努む 承寧府總管趙民熙は宣教師等と結托し新聞を創刊すべしとか或は韓國留學生に對し國體に關しての覺悟を諭示したりなど傳へられたるが趙は四日午後石塚長官を統監府に訪問し身不肖なりと雖も今日の時世斯かる行動を爲す程野暮な男にあらずして繰り返し〳〵前記傳說の事實無根なる旨を辨じ斯かる傳說の屢々世に流布さるゝは身不德の致す處として自身は諦むるとしても萬一累を皇室に及ぼす如き事ありては誠に恐懼の至りなれば特に貴官を訪問して御辯解申置く次第なり宜しく御諒察をこふと述べ歸邸したりと

●慶南村井農場紛紜 慶尙南道進永驛にある村井農場の農民二十八名は去月二十日同事務所に至り目下築造中の堤防工事不完全なれば水害の場合その損害は事務所にて負擔せられたしと申出でたるが同所主任代理田邊太郎は經驗ある技師の築造なれば水害等の恐なし若し不安ならば開場當時よりの負債を給與すべきにより退場せよと一喝したるより農民は第二農場に引揚げ協議中駐在巡查臨場の上相當の代表者を擇み事務所へ交渉すべき旨を懇諭し無事に落着したりと云ふ

●忠北暴徒包圍討伐 去る二日忠淸北道丹陽郡に蜂起せる暴徒に關する天安分遣隊長發の公電によれば首魁は金相臺李東奎閔泳八の三名なるが如く彼等は慶尙北道にて勦討せられたる結果同地に逃げ込み警戒不備の虛に乘じて猖獗を逞ふせるの形跡あり目下忠州管區より各分遣隊の憲兵を召集し連合の勢威を以て賊團を包圍討伐中なれば其結果は數日へ達すべしと

●漢城府の衛生狀態 漢城府の衛生狀態を聞くに日本人に對しては一箇月一人八錢、韓人に對しては一箇月溫突一間二錢を徵收して汚穢事業を營みつゝあるが一個年の收入約二十萬圓にして之れが經費も亦二十萬圓を要し居れるが右に付五日京城民團と警視廳の間に交渉する處ありたり

●安昌鎬と平壤人士 安重根連類の嫌疑者として久しく拘束せられたる安昌鎬は過日釋放せられたるが平壤市民等は彼を幽因せるは不當も亦甚だしとて頻りに憤慨し彼若し歸鄕せば大に之を歡迎して官憲へ面當ての一大慰勞會を開かんと愚に付かぬ力瘤を入れ目下協議中なりと

●國是遊說團の苦境 李完用の爪牙たる國是遊說團は各所に演說會を開きて一進會に反したるも未だ世間に對し何等の反響を興へず而かも李完用よりは昨今補助を給せざるより愈々維持費に困難を訴ね目下頗る苦境の由なるが或は解散を見るに至るやも計られずと云ふ

●駐韓軍隊の輸送期 既報の如く駐韓軍第六師團は第二師團と交代期日を繰上げ四月初旬より輸送開始の手順なるが第二師團が靑森、橫濱兩地より乘船其の輸送を終り次第第六師團は四月中旬より內地に歸還門司鹿兒島兩地に上陸せしむ可しと

●陸軍紀念日と招待 來る十日陸軍紀念日に付き駐韓軍司令部にては盛大なる祝賀會を開催する由は既報の如くなるが大久保軍司令官は昨五日日韓文武官及新聞記者二千餘名に對し夫れ〳〵招待狀を發したりと

●憲兵隊の活動準備 憲兵隊は各地暴徒の蠭起に起し髀肉の嘆に耐へざるものゝ如かりしが在京隊原司令官と往復照會の結果其指揮を待ちて一大活動を試みんと準備中なりと

●父兄母姉の懇話會 師範學校附屬學校にては今六日午前十時四學年學徒父兄會明七日午前十時半全學徒母姉會を開催する筈なりと

●新義州署の開廳式 中野警務課長は新義州警察所の開廳式へ臨場する爲め昨五日當地出發せり

# 民團課税の標準

京城民團の戸別稅の標準は多くの場合に於て理事者の推定するものなれば不公平なきを免かれず故に今後は質屋組合旅館組合等同業組合のあるものは先づ其組合に諮り其他の者に對しては衛生組合の意見を徵して賦課標準を定むることになす由にて斯くするときは比較的公平を得るに近かるべしとなり

●蔚山近海捕鯨成績 客月中東洋捕鯨株式會社が蔚山近海に於て捕獲したる成績を聞くに如左

| 捕獲日 | 船名 | 頭數 | 種類 |
|---|---|---|---|
| 二日 | 第一東鄕丸 | 一 | 鰮 |
| 三日 | 同 | 二 | 同 |
| 八日 | ノイン號 | 二 | 同 |
| 廿一日 | 同 | 二 | 長須 |
| 廿二日 | 天富丸 | 一 | 同 |
| 同日 | 第五東鄕丸 | 一 | 同 |
| 同日 | メイシ號 | 一 | 同 |
| 廿三日 | 第一東鄕丸 | | 同 |
| 同日 | メイン號 | 一 | 同 |
| 同日 | 第三東鄕丸 | 一 | 同 |
| 廿四日 | 第五東鄕丸 | 一 | 同 |
| 同日 | 第一東鄕丸 | 一 | 同 |
| 同日 | メイン號 | 一 | 同 |
| 廿五日 | 第五東鄕丸 | 一 | 同 |
| 同日 | 第一東鄕丸 | 一 | 同 |
| 同日 | メイン號 | 一 | 同 |
| 廿六日 | 第五東鄕丸 | 一 | 同 |
| 廿七日 | 同 | 一 | 同 |
| 合計 | | 二十頭 | |

尙同會社は同じく客月中巨濟島舊助羅にて二頭を捕獲したる由なるが右はボート即ち米國式に依り獲たる者なりと

●全南麗水最近狀況 木浦理事廳屬中村定雄氏外十數名は過日沿岸各地視察の爲め警備船三隻に分乘して突山麗水の兩郡を踏査したるが麗水の如きは自然の良好にして昨年中棉花の輸出され額二千餘圓の多きに達し海產物亦豐富なる爲め非常の活氣を呈し在留日本人は昨年十月頃は僅かに七十人に過ぎざりしに現在は百七十人に激增せり而して中村氏は理事官の命なりとて突山麗水の兩郡守を招き日韓官民和協一致して殖產の振興を計り且つ郡守は卒先して每に管內を巡視し諸般の狀況を調査し將來の發展を期すべしと諭示せりと

●仁川水産會社近況 仁川水產會社に於ける二月中の水揚高は七千六百六十九圓にして之れを前月の九千六百六十八圓に比較する時は千九百九十九圓の減少を呈せり尤も之等の漁額は重に釜山馬山方面よりの輸入に係り其內譯は鱈の千二百貫を第一とし次では平目千百五十貫メバルの三百五十貫鰤の三百五十貫海鰻の七百五十貫鯛の三百十貫等にして仁川近海の漁期は來月中旬頃よりなりと而して現今在港せる漁船は約十隻餘に過ぎず專ら港內外にて鯊ホヲ漁に從事し居れど其額極めて僅少なりと云ふ

●民團教育費の增額 京城民團に於ける教育費昨年度の分は合計八萬五百七十六圓にて內譯小學校費四萬三千五百八十二圓女學校一萬八千四百十一圓中學校二萬六千六百八十四圓幼稚園二千九十九圓なりしが本年度即ら來る四月より實施する豫算は合計十萬七千百十一圓にて內譯小學校五萬七千九百九十四圓幼稚園二千百八十圓女學校二万一千百十九圓中學校二萬六千六十一圓なるが中學校は本年度より統監府所管となる筈なれば該豫算金は何れ剩餘となるべし

●二月中釜山驛統計 釜山驛に於ける二月中の統計を聞くに乘車人員一萬〇六百十七人降車人員八千〇五十三人にて乘車賃金一萬〇三百十六圓五十一錢入場人員二千六百〇六人にて賃金五十二圓十二錢手小荷物二十五萬二千四百卅斤此賃金千四百七十六圓七十三錢發送出貨物一千四百六十五噸此賃金九千三百十二圓六十四錢到着貨物五千九百五十噸にてありしと云ふ

●楊市不振と支那商 楊市は日々商人の出場少なく去月二十七日の徵稅は一十四錢に過ぎざりき而して市民の重立ちたる者は今尙は隱遁しれりて所在判明せず食物販賣者は一同寥々の態にあるも在留淸人は漁夫の利を占めれり街は米穀の賣買は概ね市場外にて行はれつゝありと云ふ

●仁川市街の明細圖 仁川民團より度支部測量係員に精密なる市街圖調製方を依囑しありたるが此程悉皆調査を終へ民團に送附し來りたれば其筋の許可を得て之れを印刷し一般希望者に配附せらるべしと云ふ

●仁川民會の開會期 仁川民會は來る九日頃開會の筈なるが諮案は四十三年度豫算案及び高等女學校組織變更の件其他教育衛生會附屬學校所屬改正の件外重要案二三なりと

●東上委員の報告會 鐵道期成會にては明七日午後二時より本町商業會議所樓上に於て東上委員の報告會を開き兼ねて同委員會我大村兩氏の爲めに慰勞の宴を張ると云ふ

●西北學會の總會 同會にては五日本部に於て總會を開きたるが純然たる學會としての會合にて別に政治上の意味を以て集合したるにあらずと云ふ

●明治大學校友會 明治大學出身者一同は今六日午後三時より小宮宮內府次官邸に於て校友會を開催する由なり

●漢城府廳の移轉 漢城府廳は五日京城中署澄淸坊（舊法務院趾）へ移轉す

●敍任辭令 左の通り辭令ありたり
統監府判事 元木直一
特敍勳二等賜八卦章
命監督部長 關稅局書記官 有賀光豐
命事業課長 參政局技師 富家正顯
命監視課長 參政局事務官 齋藤金祐

▲治外法權▼

例の合邦屋連は近來京城と東京とで機脈を通じ色々と小策を弄して居るやうだ。現に合邦の廟議一決せりと云ふ數日前の電報も此手から出たのだと云つて東京の一二新聞紙は冷評して居る▲大阪每日、報知抔に下の樣な記事がある統監府は相變らず小刀細工を遣つて在韓新聞紙に合邦記事の掲載を差止めて居るらしい今に始つた事ではないがナゼ我當局は新聞記事に對してしかく神經過敏であるか氣が知れぬ全体新聞記事を利用活用善用して縱横に其手腕を揮ふ時は隨分面白き仕事の出來る筈である我當局にはそれが出來なくて民心がどうだの治安がどうだの目前の事にばかり屈托してコセ〳〵小刀細工ばかりやらかすと處が統監府抔は中々新聞紙を利用して居る、其代り利用した度每に民間新聞の反感を買つてギャフンと參る之れは即はち利用でなくて不利用とでも云ふのであらう▲大阪相撲は吉田司家と絕緣以來有望力士が段々脫走して最早地方興行も中止し來る五月場所の開場も覺束ないそうだ、大阪相撲が此破目に陷入つたのは全く取締の朝日山や中村が小策を弄して東京に對抗せんとした爲めである、世に小策士程險呑な者はない▲雜誌朝鮮の三月號が發刊された本號は表紙の体裁頗る善く出來て內容も又多趣味らしい何れ精讀の上紹介する事としやう。

## 内親王殿下の御高德

▽主婦の心得を諭し玉ふ

去る二月八十一歳の高齢を以て薨去せられたる佐々木高行侯が長くも陛下の御聖旨を以て常宮周宮兩内親王の御教育を仰せ付けられたるは已に二十餘年の昔にして爾來侯は聖意を奉戴して兩殿下の御教養に寢食を忘るゝ一日の如くなりしは世人の普く知る所なるが然らぬだに天資聰敏聰悟に在らせらるゝ兩内親王は彌が上に御聰明に北白川、竹田の兩宮の妃殿下として其の貞淑の御高風を仰ぎ奉るに至れるが平日質素勤儉を旨とせる故侯爵の美風を御汲み取り遊ばされたる兩内親王殿下の御家庭の床しさは承はるだにも畏き御睿德の事共多し中にも逸此の頃の事なり北白川宮妃殿下には一日年久しく奉仕せる侍女の一人にて遠らず御殿を退り下りて他に嫁ぐ可き者に對し婦人の勤に缺可らざる裁縫の手際を試み給はんやと先づ王殿下の御服を拜借し侍女に命じて裁縫せしめられたるが出來榮には何等落度もなかりければ妃殿下にも御心私に喜ばれ此れならば他家に嫁ぎても先づ〳〵と思はせ給へる矢先其の邊に散布せる眞綿屑を一丸となして屑籠に投入れたる樣を [illegible] なるに斯る始末は何事ぞ一家の主婦 [illegible]

## 八十餘名の賊徒と三十分激戰

ある八十餘名の賊徒は西方より來り鷄井驛の西北方一里余洞に集團し其目的何れにあるや詳かならず溫井院分遣所の憲兵上等兵以下六名は同日午後一時頃同地に至るや賊は憲兵の至るを承知し高地に散開して憲兵隊を包圍すべく待構へたり而して六百米突の距離に達するや猛烈なる射擊を初め憲兵隊は最も不利の地點に進みたるを以て四畑を求めて約三十分激戰したるも賊勢衰へず加ふるに [illegible] 爲め愈々不利の形勢となりたるに依り一時鷄井に引揚げて應援隊を要求したり此時開城より午時四時の汽車にて一隊來援したるに依り溫井院の憲兵は開城隊と共に行動し他の一隊は汽車に乘込みて北行したり然るに賊は金川方面より應援隊の來るを顧慮したるものゝ如く溫井院の一隊と衝突後峯城、鷄井の中間大觀の南方六町の地點を東北に鐵道線を橫りて逃走し其際長さ一尺九寸巾一尺二寸厚さ一尺の石二個を線路に置きたり之が爲め京城發急行二番列車は午後四時該石に衝突して機關車は脫線したり列車は遲るゝこと四時間にして漸く回復し平山、金川連合隊は開城の一隊と聯繫して賊を追跡中也（五日午前憲兵分隊着報）

## 全南沖の海賊

▽嫌疑者二名逮捕さる

全羅南道靈光郡沿岸に去月十四日一群の海賊出現せりとの公報は當時之を掲載せしが今其詳報を聽くに同郡道白面の運送業鄭貫永の持船に金相根外七名を乘組ませ [illegible] 載して木浦へ航行し [illegible] 島に任る智島郡に屬す [illegible] 兇器を携帶せる六名の海賊現はれ該船乘組員を縛し [illegible] 品を悉く强奪して逃走したるも附近に警備 [illegible] 數日を空過し漸く十二號の警備船を派し搜索して金成久（三〇）及び [illegible] を逮捕せりと云ふが尚 [illegible] 見込にて目下取調中

## 日韓民の爭鬪

▽金鑛取引上が原因

[illegible] 人部落に於て日本人 [illegible] 金鑛取引上の事より [illegible] 側には數百名の加擔者あり爭鬪激烈 死傷の有無は不明 [illegible] 所よりは直ちに憲兵 [illegible]

## 暴徒追擊別報

[illegible]

## 安の母發狂

の噂は却つて噓

昨京日子は安の母發狂は噓と題して其は何等かの間違ひなるべしと報導せるが其の間違ひこそ却つて眞の間違ひなるべく同女を親しく知る某氏の談に依れば最初旅順の佛國教會堂より安の死刑宣告の通知來るや衆々憂悶を重ね居たる同女は俄かに逆上して發狂せし者なれど同女の狂体は斷續にして普通の時は常人と異らずとされば此上安の死刑執行と聞かば全々發狂するに至るべしとて近親の者等も配慮し其の期日は秘し居たりしも偶々死刑執行期間の事より未だ安の死にもせぬ内に續々見舞客等來りし爲め同母も既に安は逝き者と思ひ詰め愈々物狂はしくなりて今尚頻りに藤公は多數の韓人を害したり安之を害するも何かあらん抔怒號し居れりとなり

## ▲米國で猿芝居▼

▽日米人の興業計畫

猿芝居の先達として知られたる九代目小川門太夫事淺草區松葉町山本庄右衛門（六三）は今回紐育在留の日本人高橋某から渡米興行の相談を受けた其の相談によると米國では近頃動物の藝當が非常に流行し巷にまで藝を仕込んで興行して居るが今回興行師ブードビルが太夫元となり日本の猿芝居を聘んで一儲けしやうと企て芝居は從前の忠臣藏一ノ谷莉萱等の外沙翁劇のロメオジユリヱツトやベニスの商人なども仕組ませ衣裳は無類飛切の上等の物で作り米國の大小都百四十餘個所を巡業し場合によりては英佛にも出稼ぎさす企てゞある門太夫の方では未だ回答せぬが此の契約が成立して愈々渡航するとなつたら米國の興行界は餘つ程賑ふであらう

## 毛色違ふ暴徒

▽强姦せんとする部下を銃殺

去月廿四日午後六時江原道洪川郡斗村面掛石里尹成一方にては婚姻ノ最中なりし所へ暴徒四名闖入す巨魁は姜森𨀉と云ひ部下のうちには金書房、全書房と云ふが加はり居たりと巨魁は年齢三十歳位身長五尺六寸、顔長く色黑く痘痕あり眼大く鼻高く短銃火繩銃を携帶し居たりとの事なるが賊は婚姻の爲用意せる所の酒食を食荒らし何れも酩酊したりとは暢氣千萬なる暴徒共哉而して暴徒の一人は新婦を捉へて强姦せんとするにぞ主人は之を其暴徒の首魁に告げて强姦を許されん事を哀願せしに其首魁幾分か毛色の變つた所ありと見へ主人の哀願を聽くや「それは以ての外の事也新婦を强姦するとは我の部下として怒し難き奴なり嚴重制裁を加ふべし」とて他の部下二名に命じて强姦せんとしたる部下を縛せしめたる上自ら短銃を以て銃殺したりされど萬一蘇生せん事を虞りて銃臺を以て其面部を打碎き同夜は同所に宿泊し翌朝何れへか逃亡せりと云ふが毛色の變つた暴徒と云ふべし

## ●守備隊の燒失

▽江原道大坪守備隊

派遣步兵第一聯隊第三大隊の江原道大坪守備隊は去二十八日拂曉事務室溫突より失火し士官室を合せ一棟の韓國家屋及び物品若干を燒失せり原因は溫突構造の不完全なりし爲なりと云ふ

## ●東洋の園遊會

豫告の如く龍山東洋日報社にては三月第一の日曜なる本日を期して本願寺裏手の桑城ケ岡にて自祝園遊會を開催の筈なるが其の順序等は左の如くにして公衆一般も見物隨意との事なればさぞ盛會を來す事ならん

一、午後一時煙火三發を以て開會を報ず
一、奏樂
一、社長の挨拶
一、來賓の答辭
一、來賓の祝辭祝文
一、奏樂
一、午後二時三拾分餘興開始及模擬店開始（煙火三發にて合圖）
一、午後五時閉會（隨意解散）尚此の間奏樂や煙火を發揚す

## 目と耳

●羽織の拾得　大韓日報仁川支局記者松尾榮太郎は一昨夜猫嶋南海樓前に於て銘仙男羽織を拾得其筋に屆出づ心當りの者なきや

▲歌舞伎座　同座本晩の狂言は昨晩よりの引續き『明治忠臣藏』の後編にして五段六段七段目には舊劇淨瑠璃入りとの事なり

▲壽座　同座は本六日の替り狂言は『蛇の執念』全七幕にて此劇は一昨年常陸國土浦在に事實ありし事にて林幸太郎と云へるもの親に不孝なしたために其母の執念が蛇となり幸太郎の首に捲き附き容易に脱る事能はざりしが幸太郎は前非を悔い各國寺院を巡拜なし結局甲州身延山にて南無妙法蓮華經の大荒行のため其蛇を脱る事を得たる其顛末にして内地到る處好藝題として歡迎されたる者なりと
遊人熊五郎（本田）妹れ君（原島）工學士安達明（小泉）木更津權次（島津）林幸太郎（菊地）林守（村尾）高森代議士（日比野）妹れすて（敷島）下男才助（二宮）母のれ富、妹れきみ（高井）下男吉兵衞、妙蓮上人（佐々木）

▲京城座　同座本晩の替り狂言は空中飛行器發明の全八幕にして其の重なる配役は
櫻田勇吉（伊井）醫師岡田晉（花井）妻暈子（笄木）占部初子（金澤）太田原少尉（川崎）畑島俵七（高崎）角屋吉藏（上田）八夫（瀬）人夫（久田）占部道夫（入島）荒川少尉（實部）實田要造（秋岡）檪島輝忠（美崎）深野與一郎（米田）人夫（清水）民子（瀬川）

▲浪花舘　同舘菊丸一座の讀み物は左の如くにして初日よりの語り續きなる由
後藤三代記又一郎（廣澤菊八）書の刀鳳塚刷卜傳（吉田錄丸）東海七人男（廣澤菊造）雪の曙義士讀、眞正太閤記（廣澤菊丸）

▲龍山座　同座本晩の藝題は小杉天外作「思ひ違ひ」の通し物にて其の役割は
渡邊上等兵（泉）三島軍曹（池内）北尾妻れ清（西井）曉濱貞次（芳川）矢岳伍長（吉井）濱二郎弄嫁れ照（寶井）北尾濱二郎（藤島）咲村中尉（小泉）石屋吾助（小伊東）毒婦れ蝶（東）村長落川（北秋）北尾曹長（伊東）

## 神と佛

▲日本基督教會　旭町四丁目の同基督教會にては例の如く本日曜午前九時半より日曜學校同十一時半より禮拜說教石原牧師の『個人傳道』午後七時半よりは橋本金太郎氏の傳道說教『何を見んとて野に出しや』▲京城基督教會　日の出町の同教會にては午前九時半日曜學校同十時半禮拜說教午後七時半傳道說教あり演題は宗像鴨四郎氏の『聖書講義』松本雅太郎氏の『信念と自覺』

●敷島遊廓檢黴　仁川敷島遊廓の娼妓六十二名に對し一昨日定期檢黴を行ひしが異狀なかりしと云ふ

●一昨晩の敷島　一昨夜の敷島遊廓の嫖客數は四十名にして揚り高は百五十一圓六十七錢なりしと

## ▲平民文庫▼

▲壽町壽座前の床屋は仕事さが非常に叮嚀で上手だ然し僕は譽めるけれども一厘も敵きたる譯ではない（初客）▲怪しいぞ（小僧）▲本町五丁目日の丸市場の橫鬼笑亭と云ふ家へ寒さ凌ぎにうどんを注文してやつて居ると二人の若い娘が何か知らないけれど僕の男の好いのをか又は金持ちそうに見たのか知らないけれども熱心に二階へ上る樣にすゝめた僕は非常に氣が弱いから惜しいけれども半分許りのこして飛び出した尾號から鬼笑亭であるから針の山へでも押し上げるのかしらん（色男）▲長谷川町大久保邸隣り湯屋の妻君は御客に對して非常の親切で愛嬌があるだまで、たぜんの話しではないが湯の中でとける樣な心持ちがする（江戸見）▲漂浪の自分も如何なる風の吹きあわせか昨夜不夜城淸月樓の客の一人となつた其の晩はもてたのか振られたのか知らないけれども朝起きて手拭とヨウジを出してくれたのが非常にうれしかつた（浪々之人）▲少々料らん手拭と楊枝を出したのが其樣に嬉しいとは（係）▲四日の夜支那町の濱の家の前を通りかゝると同家で泥醉者が亂暴して居る何うしたことかと思へば錢なしで酒を飲ませろと云ふ一方では錢を持つて來なければ飲ませぬと云ふので諍つて件の如き理由身分に恥ぢて以來愼まねど姓名を發表するぞ（うノ字）▲鷺梁津駐在所詰某巡査は自己の頌德碑建設のことを同地韓民に强請したとは御用紙の報道する所だが間違ひだと信ずる同紙の筆錄で行けば『斯くの如きは徒らに排日の鼠輩に好口實を與ふるに止まるのみだ如何に問題がないとは云へアンナ事は少し愼しむが好からう愼しんだが爲めに材料が足らねばモ少し鯨に潮さへ噴かせりや宜いぢやないか』と▲併し僕は其機野事は云はぬ新聞社が一事に就いて實否を確かむると云ふ事は不可能もの、假りに出來るとしても夫れでは報道の時機を失すると云ふ處れがある茲に於て風說は風說とし掲載し事實の判斷は讀者に任せるとするより爲方のないことがあるのは事實だもの▲併し彼れは事實相違と信ずる日人の官吏、特に警察官の爲めに（風聞子）



## 吉凶鏡

本町五丁目　三一館判斷

三月六日舊正月廿四日赤口、白庚午平△一白　本命日なり凶事愼み畏るべし的殺なし△二黑　不振の日新事見合すべし盗難及色情の破れを愼しむべし△三碧　潤達の日たり旅行開店嫁及婚姻と結ぶに良　散財失費を愼しむべし△四綠　失念懈怠より業務上に疎漏ある勿れ他は福利增進の日とす△五黃　發運たり着手開業凶紛爭盗害避くべし△六白　會心の日なり大抵吉調査檢分下調べの着手妙△七赤　福錄の日なり利益若くは會心事あり兒女使用人の事留意すべし△八白　飯餉滋滯多し貸借取引上尤も注意すべし△九紫　不如意の事多し新事見合の事農業林業には吉

三月七日舊正月廿五日先勝二黑辛未定△一白　寢運の日とす新事見合せの事保證受印世話事を禁す△二黑　非運の日なり盗害遺失酒色の難を戒しむ△三碧　万事不得要領に了らん金品授受取引間違ひあり△四綠　疑惑多き日なり又誘引勸奬の事に乘ずる勿れ△五黃　從者家族より損害失厄あらん情義のため係累を釀す勿れ△六白　欣樂の日なり大抵吉殊に鑛山農業の事良好△七赤　利調なる日なり子孫のために謀りなす事其効を齎らす△八白　模樣替方針替整理改革の事宜し家畜兒女の上に監督を怠る勿れ△九紫　平凡の日なり會見依賴婚姻の談議尤も妙

## ●天氣豫報

（自五日午後六時至六日午後六時）

北西の風晴後曇

四日（華氏）最高溫度　三三、八　最低溫度　二〇、八

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり德商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●學上女中 十五六歳の女子高等官舍上女中見習たし俸給望まゞ 氏名在社(八)
●店員雇入 十四五歳の者希望者來談あれ日の出町下山商行(電一〇〇七)
●小供入用 但十五歳以下至急入用 龍山元町三 日韓組米店(電三四三)

物件部

●貸家 西大門內舊國領事館跡六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸しいたし同所小林方へ
●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 貿化堂藥店
●貸家 平家一戶建間數四間及長家一戶間數三間場所南大門外吉野町
●瓦葺平家 建坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし 電話七四番へ
●求貸家 水樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温突ならば最佳 氏名在社
●繪葉書讓渡 日韓未使用紀念繪葉書安價讓渡たし 氏名在社(九)

廣告

入院隨意
龍山新市街山下町
內科 小兒科 眼科
原醫院

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

●滋養と牛乳●
●衛生と消毒●
純良牛乳
馬車配達
京城東四軒町 電話壹〇六九番
岡野牧塲

入院隨意
內科 外科 小兒病 梅毒淋病
京城壽町三丁目 電話(二一六)
高井醫院
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

◎筑前琵琶教授◎
月友會本部指南 京城旭町四丁一番地 鶴崎賢定
月友會支部教授 龍山本町三丁目廿二番地 東司照子

乳 …御用…牧場 …番

諸荒物世帯道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒ サッポロ ビール 精白米
右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
日用雜貨御問屋
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話二一〇電略(ニカ) 振替貯金口座韓七番

辯護士 特許辯理士
京城明治町二丁目(佛國教會前)
岩田仙宗
電話三五四番

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣 厘毛引なし 安心して買へ升

韓國金屬商元祖
和洋金物商
舶來品は直輸入 日本製品は產地特約
新案特許品數種着荷 破天荒の大勉强
京城本町五丁目
藤本藤次郎本店
長電話四五番 電信略號(ク) 振替貯金口座第一三四二二番



美術書畫 襖、壁、天井張
京城壽町二丁目
桂萬吉
(電話六二七番)

韓官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山臺鹽合資會社食鹽特約
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目十番地 電新橋三六九二

齒科治療
ドクトル 中村安子
本町六丁目(鍛冶屋横町)電話一五八三番



紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
京城本町六丁目
播本(ハリモト)商店
電話百拾番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一一五番)

三月三日
雛祭
開業
御披露
電話百二十番
會席
御料理
龍山 元竹の家跡
東家

神戶資生分院
京城相生町(南門湯橫)
◎花柳病專門並 痔(注射療法)
●入院隨意●
京城梅毒病院
院長 醫學得業士 廬田耕平
(電話一一九四)

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町一丁目六十七番戶
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
特約販賣
大上商店
(電話二五一番)
自製 和洋酒、罐詰、酢、鰹物、麵類、乾物、荒物、食料、雜貨、ビール、米糀、鰹節、塩辛、日本食鹽、各種特約販賣
御官衙學校御用に依り商品切手調進仕候

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六二一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
電話六十五番

綿わた綿ワタ
たやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
御問屋
京城明治町一丁目四ッ角
唐川商店
電話二六一番

蒸溂 牛乳 消毒
京城大和町一丁目
平山牧場
電話一三三

改修落成と電話開通
久しく改修中の處漸々落成仕候間不相變御最負の程願ます
京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)
待合 醉月
電話二六五番

韓國銀行
本店用 電話(長)一三三六〇二
當直用 電話(長)一二二六一
係用 電話 一三六一
來客用 電話 一一〇
度用 電話 三三二
臨時建築部用 電話 一三〇二
支店出張所 仁川、平壤、大邱、鎮南浦、群山、木浦、馬山、成興、城津、鏡城、開城、安東縣、
爲替取引先 東京、大阪、橫濱、神戶、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、以上日本 釜山、公州、光州、晋州、海州、沙利院、博川、寧邊、義州(以上韓國) 大連、(淸國)
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

京城鐘路の喰物は何んだろ—
裁判所前の洋食店 鐘路軒の
松茸めし
酒一本付 和洋料理五品付 一人前六十錢
價が安くて うまくて はらにたまるよ 皆さん一度たべてごらんなさい
又和洋料理和洋食北辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる極く便利ですよ
電話壹四二九番 客用付ます
◎監獄辨當の差入も引受ます◎

★株式會社 百三十銀行 韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野
東海道 住吉、茨木、下市、東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎、小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、
北陸道 大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 米子、境、松江、久手、大田
山陽道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、五島、龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、原、廣島、岩國、山口、柳井、三原、福山、府中、尾の道、下關、萩、備山小郡、長府、網干、平生
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、徳島、撫養、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 高方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、群山、馬山、全州、晋州、安東縣
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行 京城支店
(電話四一二〇)

本店 長崎市築町
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申升(利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)